

研究室名	<b>加藤彰研究室 学会発表</b>
------	--------------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究者および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

発表時期	2019年10月
学会名	一般社団法人日本機械学会関東支部栃木ブロック研究交流会
演題名	噴霧計算によるバイオ燃料のディーゼル燃焼シミュレーション
発表者	○ <u>Louis Budi Soesanto</u> ※、 <u>加藤彰</u> 、松村恵理子（同志社大学）、千田二郎（同志社大学）
内容	<p>最近、地球温暖化につながる自動車からの排出ガスを減らすために、新世代のディーゼル燃料が用いられている。そのため、本研究はConvergent Science社のCFDシミュレーションコードであるCONVERGEを用いて、噴射を実験と燃焼実験における燃料の違いの影響を観察した。これは、ディーゼルエンジンの噴射が、燃料密度の違いによりエンジンの排出ガスに影響を与える可能性があるためである。エンジンとインジェクタの諸元を表1に示す。本研究ではディーゼル噴射実験を行った。その目的は、バイオ燃料（BDF）と軽油（JIS2）の違いが噴射ペネトレと噴霧角度に及ぼす影響を調べることであり、エンジン実験と同じ条件でシミュレーションを行った。</p>
関連画像	